

**国連で、ソーシャルワークデー25周年記念**

**国際ソーシャルワーカー連盟より、国連で、ソーシャルワークデー25周年記念を行ったことについてニュースが届きました。ご紹介します**

IFSW 加盟団体各位

国連で、ソーシャルワークデー25周年記念

900人のソーシャルワーカーと学生が、国連でソーシャルワークデー25周年記念日を祝うために、3月31日（月曜日）に国連に集まりました。その日の目的は、ソーシャルワーカーの仕事に注目を集め、国連がソーシャルワークの働きを認めていることを示すことにより、IFSWとIASSWに引き続き活動する基盤を与えることです。会議のテーマは、ソーシャルワークデーの25回目の記念日と人権規約の60回目の記念日を反映しました。

我々のウェブサイトで、デヴィッド N ジョーンズ会長からのレポートを読むことができます。（下記に掲載）

<http://www.ifsw.org/en/p38001308.html>

皆様の会報で、この重要な社会福祉イベントを報道していただけたら幸いです。

敬具

トム・ヨハネセン

事務局長

国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW)

Postfach 6875

Schwarztorstrasse 22

CH-3001 Berne

SWITZERLAND

Tel (41) 31 382 6015

Fax (41) 31 382 1125

E-mail: [global@ifsw.org](mailto:global@ifsw.org)

Web: <http://www.ifsw.org>

## ホームページ掲載事項(デヴィッド・ジョーンズ会長のレポート)



### 主たるスピーチの要約

900人のソーシャルワーカーと学生が、国連でソーシャルワークデー25周年記念日を祝うために、3月31日月曜日に国連に集まりました。その日の目的は、ソーシャルワーカーの活動に光を当て、また国連に社会福祉の貢献を認識させて、IFSWとIASSWによる継続的作業の基盤を得ることです。会議のテーマは、ソーシャルワークデーの25回目の記念日と人権規約の60回目の記念日を反映しました。

デヴィッド N ジョーンズ IFSW 会長とアビ・タッセ IASSW 会長は参加者を歓迎しました。デヴィッド・ジョーンズは、グローバル化の衝撃と増加している社会的な危機を指摘しました。危機は、気候変動、集団移動、民族と宗教の闘争、およびコミュニティの衰退から生じます。彼はソーシャルワーカーが雇用先を求めて、ますます世界中を移動し、また、地域のソーシャルワーカーによって扱われた多くの社会問題には国際的な意味があるという事実に着目しました。デヴィッド・ジョーンズ会長は、すべてのソーシャルワークが現在、国際的であり、政府がこれらの社会的な危機の対応のために、ソーシャルワークに着目していると述べました。

キャサリン・ケンドール(IASSW の名誉会長で 98 歳)は、初めて国連によって雇われたソーシャルワーカーであり、自分の活動について話しました。彼女は 1940 年代にソーシャルワークとソーシャルワーク教育の最初の研究をしました。

基調演説者はクレイグ・モカイバー(Mokhiber)、国連高等人権委員会事務所の副長官でした。彼は、国連を代表して参加者を歓迎し、国連ビルでこれほど出席者のいる会議は、一度も見たことがなかったとコメントしました。

熱のこもった演説で、モカイバー(Mokhiber)氏は人権を支援する際の、主要な職業であるとしてソーシャルワーカーの活動に敬意を表しました。

彼は人権の概念と規約に関する国連の作業に関して、政治的なリスクがあることを強調しました。彼は人権アプローチが慈善によるものではなく、社会正義と権利に則っていることを重視しました。彼は、採択以来の影響力の乏しさを考えて、規約の実効性ある活用がされるには、新しい

戦略が必要であることを示唆されていると述べました。法的なルートを特に使用するような、過去に行われていた方法を続けることでは、十分ではありません。彼は、人権を実現するために戦いにおける最前線にはソーシャルワーカーがいると述べました。ソーシャルワーカーは必然的に通常業務を通して規約の実施と状況をモニターしています。意義ある実行であるためには、人々が彼らの社会的・政治上の権利を主張できるようエンパワーして、その日暮らしの現金施し物と緩和剤を与えることに留まらないように着目しなければなりません。彼は、政府が人権状況を擁護するようになった時、ソーシャルワーカーとその協会も、NGO が作成する影のレポートに貢献するようにと促しました。

マーガレット・ブルースは、最初の人権委員会が規約を草案した時に、それを支援した国連のスタッフのメンバーとして自分の役割を述べました。彼女はエレノア・ルーズベルトを含む何人かの主要な人々を含んで作業した自分の経験について説明しました。

次に元 IASSW 会長レナ・ドミニリ、アビ・タッセ、およびクリストフ・ロブリー ブランジェ Lobry-Boulanger(アメリカ赤十字)が、国際的なソーシャルワークの様々な側面に関して話しました。

国際エイジング連盟のヘレン・ハミルトンは報告書を要約して、さらにソーシャルワーカーが国連に提供することができる社会問題に関するユニークな視点を強調しました。彼女はソーシャルワーカーの経験が、国連システムに導入されている点のいくつかを述べました。

デヴィッド・N ジョーンズ IFSW 会長はニューヨークの国連のみではなく、ジュネーブ、ウィーン、およびナイロビにおける IFSW と IASSW チームの活動を強調しました。

国連のこの会議に前日に、およそ 300 人の学生が、主に米国とカナダから参集し、国際的なソーシャルワークの学生会議を実施しました。(別のレポートが後で示されるでしょう)。

デヴィッド・N ジョーンズ

IFSW 会長

Photo: © David N Jones for IFSW

page last updated on 06.04.2008

訳 岩崎浩三

星野晴彦